

2019 年度 一般財団法人 長野県児童福祉施設連盟 事業計画

社会構造の変化とともに、子どもや家庭を取り巻く環境は大きく変化し、子どもの育ちを支える仕組みを家庭だけではなく、社会全体で支えることが求められるようになりました。

平成 29 年 8 月に制定された「新しい社会的養育ビジョン」、および昨年 7 月に発布された「都道府県社会的養育推進計画の策定要領」では、何らかの事情で実親の養育が困難である場合に実施する代替養育や特別養子縁組の推進をはじめ、児童養護施設や母子生活支援施設等、施設の小規模化・地域分散化を進める方針がなされました。加えて、児童相談所、児童家庭支援センターを中心に、パーマネンシー保障、自立支援、フォスタリング機能の強化等、子どもの生涯にわたる長期的支援のあり方が示されたところです。その実現には、様々な機関・機能の密な連携が必要不可欠であり、とりわけ長年、社会的養護を担ってきた私ども施設関係者においては、その専門性を地域に広めていく機会が増すものと思料されます。

長野県児童福祉施設連盟は、これからの児童福祉施設の役割を見つめ直し、更なる機能充実を求め、関係機関と協働して子どもたちに丁寧に寄り添う体制のあり方を考え、次に掲げる 6 重点課題を基軸として、取り組みを展開していくものである。

1. 児童の権利擁護の徹底
2. 新たな施設養護の確立
3. 職員の専門性の向上
4. 次代の施設を担う人材育成
5. 社会的養護を共に担う関係機関との連携強化
6. 「長野県社会的養育推進計画」策定に向けた組み

《事業内容》

1. 施設機能の充実

- (1) 施設内虐待の防止及び施設運営適正化の推進
- (2) 生活(養護)単位の小規模化と家庭的養護の推進
- (3) 施設の地域分散化と高機能化・多機能化
- (4) 性的問題行動の未然防止及び適切な指導・支援の徹底
- (5) 職員の資質向上・育成研修体制の充実
- (6) 第三者評価・自己評価の結果に基づく施設運営の充実
- (7) 児童虐待防止ネットワーク等、虐待防止啓発事業への積極的な参加と連携

2. 施設種別・職種別調査研究

施設種別・職種別に専門的な調査研究を行って、施設運営全体の適正化を推進する。

(1) 施設種別調査研究活動の推進

乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、児童自立援助ホームの運営・養育にかかわる各種調査研究を行う。

(2) 職種別調査研究活動の推進

①施設長部会 ②庶務部会 ③支援職員部会 ④給食部会 ⑤心理部会

(3) 委員会活動の推進

①総務委員会 ②予算対策委員会 ③施設運営適正化委員会 ④性的問題研究委員会
⑤家庭的養護推進委員会

(4) 職員研修の充実

社会的養護処遇加算に係る研修の充実強化

3. 啓発活動

(1) 長野県児童福祉施設大会の開催

(2) 連盟ホームページの活用

(3) 連盟広報誌等の発行

(4) 県的広報の活用

(5) 社会的養護関連の各種条例・計画等の策定にかかわる、県民意見公募（パブリックコメント）へ、連盟としての意見を発信する。

4. 主催事業・会議等

(1) こども・家庭課・児童相談所と施設長連絡会議（4月）

(2) 第54回長野県児童福祉施設大会（6月5日・千曲市）※別紙 参照

(3) 長野県児童絵画展（6月5日・千曲市）

(4) 一般財団法人長野県児童福祉施設連盟総会（6月6日）

(5) 新任職員研修会（6月～7月） 同一研修を二回開催

(6) 県知事・県教育長へ「児童福祉に関する要望書」の提出（9月上旬）

(7) 未来の児童福祉施設職員育成事業（9月～1月）

長野大学 社会的養護内容 火曜日2時限

(8) 保育士養成所協議会と施設長連絡会議（11月）

(9) 長野県民生委員・児童委員会と施設長連絡会議（1月）

(10) 乳幼児育成事業（2月）

(11) 進学・就職児童激励事業（3月）

(12) その他必要な事業

5. 基金の運営

(1) 児童自立支援基金「希望」規程に基づき、退所し就職する児童への支援を行う

6. 表彰

(1) 施設協力者・永年勤続者に対する施設大会での県知事表彰

(2) 施設協力者に対し連盟会長よりの感謝状贈呈

(3) 永年勤続者に対し連盟会長よりの表彰

(4) スポーツ・文化活動等において、めざましい活躍をした児童・善行のあった児童に対し、連盟会長よりの表彰

7. その他

(1) 「オレンジリボンたすきリレー」の後援

(2) 「信州総タイガーマスク化計画」への協力

(3) 長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会への参加

(4) 「長野県みらい基金」からの支援

(5) 「第34回関東ブロック児童養護施設職員研修会」の後援

平成31年度各部会事業計画

部会名	事業			
	回数	時期	内容	場所
施設長部会	1回	4月25日(木)	平成30年度収支決算について 平成30年度児童自立支援基金「希望」特別収支決算について 2019年度予算について 2019年度事業について ①第54回長野県児童福祉施設大会 ②第34回関東ブロック児童養護施設職員研修会 ③その他	メルパルク NAGANO
	2回	8月下旬	第54回長野県児童福祉施設大会反省と次年度開催予定 2020年度予算対策について その他	未定
	3回	11月下旬	未定 (保育士養成校と施設長連絡協議会開催翌日)	未定
	4回	2月中旬	役員の改選について その他	未定
庶務部会	1回	9月	・県の家庭的養護推進計画への各施設の対応状況について 情報交換し今後の対応を模索する。 ・働き方改革についての対応と理解を深める研修を行う。 ・日常の事務処理に関する情報交換を行い事務の効率化を 研究する。	松本市
	2回	2月	・県担当者より措置費関連の新年度予算概要説明及び 新規事業への対応方法を学ぶ ・次年度事業計画の策定 ・次年度部会長、副部会長の選任	長野市
支援職員部会	1回	7月	・ユニットリーダー、グループリーダー研修 (処遇改善加算対象研修)	松本あずさ会館
	2回	9月	・アフターケア、ライフストーリーワークについて ～各施設の取り組みや課題～	松本あずさ会館
	3回	11月	・心理部会との合同部会 里親支援研修(処遇改善加算対象研修)	松本あずさ会館
	4回	1月	・アフターケア、ライフストーリーワークについて ～まとめ～	松本あずさ会館
給食部会	1回	6月	・児童養護施設における食育 ・情報交換 各施設のレシピ、衛生管理の方法など	松本あずさ会館
	2回	9月下旬	・「児童への栄養指導について」 各施設の事例検討・ロールプレイング	松本あずさ会館
	3回	2月上旬	・調理実習「災害時に役立つ食事作り」 ・今年度反省・来年度への要望	松本あずさ会館
心理部会	1回	5月20日(月)	・「里親委託等措置変更を必要とする児童の支援」 講師:長野県広域支援センター主任児童心理司 仲島光比古氏 ・グループワーク 施設不調となった児童の支援 里親移行する児童のケア	松本あずさ会館
	2回	9月	・研修「トラウマインフォームドケア」 講師:大阪大学人間科学研究科 野坂祐子 准教授	松本市
	3回	11月	・支援職員部会との合同部会 里親支援研修(処遇改善加算対象研修)	松本あずさ会館
	4回	1月	・事例検討 ・今年度の反省と来年度の計画について ・次期部会長について	松本市